

「同朋オープン・フォーラム2019」にぜひご参加ください

今年も、生徒・保護者・教職員・大学研究者の四者で「教育・学校づくり」を考え、話し合う「同朋オープン・フォーラム」を12月7日(土)の午後に実施します。

昨年は石井拓児先生(名古屋大学大学院准教授)をお招きして、「これからの同朋の教育に期待するもの～過去から未来へ～」と題してミニ講演をしていただき、そのあと生徒体験発表や226名が参加しての大意見交流会を行いました。

今年はそれを受けて、「スマホとどう付き合うか」「やる気“スイッチ”どうしたら入る？」など話し合います。そしてその時々、大学教育学の研究者に助言をもらい討論を深めていきます。ぜひ、多くの保護者の皆さん、生徒の皆さんの参加をお待ちしています。

実行委員会事務局 宮城 道良

日時 2019年12月7日(土) 14:00～17:00

開催場所 多目的ホールほか

テーマ1 「スマホとどう付き合うか」

○生徒会・PTA地域懇委員会・保健室からの報告、ワークショップ授業の報告
それらを受けての意見交流会

テーマ2 「やる気“スイッチ”どうしたら入る？」

○卒業生からの報告

内容

2019年度 秋の「助成金拡充請願」活動について

今年度も、『オータムフェスティバル(県民文化大祭典)』を県下38会場で開催しております。それぞれの会場で県会議員さんにご登壇いただき、愛知県や市町村の「助成金拡充請願」についてもご理解をいただいております。

本校では、責任・担当会場となっている12会場を中心に、生徒、保護者、卒業生とその保護者、本校教職員、また他私学関係者や市民とともに、準備・運営を進めております。

同朋学園助成金推進協議会としても、今後開催される11月17日(日)の同朋会場(名古屋中村会場/メインゲスト:つまみ枝豆さん タレント・オフィス北野代表取締役社長)をひとつの大きな結節点としながら、さらに大勢の方のご理解を得たいと考えております。

今年度は、国の就学支援金の制度が大幅に見直され、愛知県への交付金が増額されます。県単独の助成金に上乗せするかたちで交付額が活用されれば、「私立高校無償化」「教育の公平」がかなり現実的なものとなるはずです。12月の愛知県議会で審議される「請願署名」採択に向けての活動、2019年度以降の私学教育を左右する大切なフェスティバルへのご参加等、今後ともご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、オータムフェスティバル運営協力券の普及、これまでの会場へのご参加・運営・準備など、多くの力添えをいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

同朋学園 助成金推進協議会 小堀 能任



Schedule [行事予定]

11月	2日 土	進研模試
	6日 水	生徒会立会演説会
	8日 金	第2回漢字検定
	10日 日	珠算・電卓実務検定、音楽科体験入学
	15日 金	数学検定
	16日 土	第2回学校説明会
	24日 日	ビジネス文書実務検定
12月	27日 水	見真の日 報恩講
	28日 木	学園研鑽日
	29日 金	期末考査 【～5日(木)】
	1日 日	全統センタープレテスト(3年)、第3回学校説明会

12月	6日 金	家庭学習
	7日 土	PTA常任委員会、オープンフォーラム
	15日 日	修学旅行1団出発 【～18日(水)】
		修学旅行2団出発 【～19日(木)】
	16日 月	午前授業 【～20日(金)】
		一般受験三者懇(3年)
	17日 火	修学旅行3団出発 【～20日(金)】
	18日 水	『DV』講演(1年)
	19日 木	学年自主活動(3年)、1団代休
	20日 金	学年自主活動(1年)
1月	21日 土	終業式
	8日 水	始業式、1・2年普通科実力考査 【～9日(木)】
	10日 金	音楽科第51回卒業演奏会
	17日 金	見真の日
	18日 土	進研模試、センター試験 【～19日(日)】

1月	19日 日	情報処理検定
	20日 月	午前授業(3年)、センターリサーチ
	21日 火	卒業試験 【～24日(金)】
	24日 金	第3回英語検定
	25日 土	PTA常任委員会、1・2年保護者進路ガイダンス、学級懇談会
2月	26日 日	簿記実務検定
	29日 水	推薦入試
	31日 金	第3回漢字検定
	2日 日	商業経済検定
	4日 火	3限授業
	5日 水	一般入試
	8日 土	進研模試(2年新入試早期対策) 【～9日(日)】
	14日 金	卒業式リハーサル、第3回数学検定
	15日 土	卒業式

同朋和敬

10

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.216 30 OCT 2019

同朋高等学校

学校通信編集委員会

平岩・宇佐美・久野・平野・杉浦

名古屋市中村区稲葉地町7の1

TEL 052-411-1159

同朋和敬

文化祭と夏休みの活動特集

10
Vol.216
学校通信

Doho High School Community Press



秋と聞いてパツと思出す句は「柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺」であろう。明治時代を代表する俳人 正岡子規(まさおか しき)が明治28年10月、松山から上京する途中、奈良・法隆寺で詠んだ。「茶店で一服して柿を食べると、途端に法隆寺の鐘が鳴り、その響きに秋を感じた」。子規は、夏目漱石とは同窓でとても仲が良く、旅の世話をしたのは漱石だったようだ。日清戦争に記者として従軍したのが影響してか、結核の症状が悪化し34歳で亡くなった。この法隆寺が今では世界遺産となり、人々に愛されていることを知れば子規も喜ぶのではないだろうか。ちなみに子規が法隆寺を訪れた10月26日は『柿の日』に制定されている。

同朋高等学校長 梅田 功



2019年度の文化祭は「Time ～未来につむぐ糸～」というテーマのもと、学年ごとの企画に取り組みました。1年生の「つくる!」部門では、ジェットコースターや入場門などの大掛かりなものの製作に挑戦したり、教室を沈没船に造り変えて脱出ゲームを企画したりしました。各クラス“つくる”だけで終わらず、来場者に楽しんでもらおうと工夫を凝らしていました。2年生の「同朋ミュージアム」部門では、細部の装飾までこだわり、教室を異空間に作り上げ、研究内容を深めるためフィールドワークに出かけた内容を取り入れたり、試食を用いて五感に訴えるなど、来場者に驚きと学びを与える「ミュージアム」の名に相応しい展示になりました。3年生の「演劇・パフォーマンス」部門では、体育館や野外ステージで熱のこもった各クラスの演技が観る者に感動を与えていました。1年次より“お互いを認め合う”“良いことを共有し合う”ことにこだわってきた3年生だからこそ、全クラスがハイレベルな作品を披露することができました。

また本部企画では「ブラックバイト」をテーマにクイズや討論を実施し、その内容を受けて弁護士の方に講演をいただきました。高校卒業後に多くの生徒が何かしらのアルバイトをする際に知っておいてほしい知識や、もしもの時の対処法などを学ぶことができました。

1つの企画・作品を創るうえで、仲間の大切さを知ったり、意外な一面を見たり、時には悩んだり、ぶつかったりした貴重な経験が人生の糧となり、学校生活のさらなる充実につながってくれることを願います。

文化祭実行委員会 大泊 和将

2019年度文化祭 受賞クラス一覧

アカデミー賞

3年生	演劇部門 303 振り子	2年生	ミュージアム部門 202 チャーリーとチョコレート工場
	パフォーマンス部門 309 もうひとつの竹取物語	1年生	創造部門 108 The 108 Lost Ship

ベストクラス賞

2年生	ミュージアム部門 210 ドラえもんのだ	1年生	創造部門 101 映えるアンパンマン[ジェットコースター]
-----	-------------------------	-----	----------------------------------

3年アカデミー賞 演劇部門

一丸となって

303 佐藤 元紀 (名古屋市立山王中学校出身)

あの時の僕は、まだスタートラインにすら立てていなかった。本番2日前のリハーサル、自分たちなりに精一杯準備をしてきたつもりだったが、舞台はそんなに甘くなかった。リハーサルはぐだぐだ、声は全く聞こえない、場面転換ももたつき、まるで感動できない。

リハーサルでの失敗は、僕たちの心をつににした。すぐに大反省会を行い、だめな部分を徹底的に改善しようとなった。クラスの皆が一丸となり、照明、立ち位置について遅くまで話合った。それぞれに思いがあった。その思いがリハーサルを境にして一つになれたように思う。

もう一つのきっかけは、他クラスの演劇だった。7組の演劇も4組の演劇も完成度が高く、正直負けたなと思った。けれど、一度挫折を味わった3組は、そこで折れなかった。6組の演劇を見たときも、「やられた」とは思ったが、自分たちの仲間を信じることができた。アカデミー賞受賞の放送を聴いて、言葉にならないくらい感動した。

もたついていた準備期間、支えてくれたたくさんの仲間たち、刺激くれた他のクラス、きっかけを与えてくれた先生、たくさんの人のおかげでアカデミー賞が取れた。

アカデミー賞受賞後、教室に4組のみんなが来てくれた。「おめでとう」「再演で2年生に素晴らしいものを見せて」と励ましてくれた。もし逆の立場だったら、僕たちはこんなことできただろうか。僕たちは、ライバルだったが、同時に同じ学年の仲間だったのかと気付かされた。この学年で文化祭を競い合えて、本当に良かったと心底思えた。

3年アカデミー賞 パフォーマンス部門

無責任な私を変えてくれたクラスの仲間

309 久田 美月 (名古屋市立はとり中学校出身)

「私なんかが役に立てるわけがない」。そんなネガティブな考えのまま始まった今年の文化祭。私は今まで、学校の行事に積極的に参加したことなどなく、クラスを引っ張って何かをするなんて無縁の生活を送っていた。それが今回のクラスの仲間から「演劇部だったんだよね。一緒にアカデミー賞目指そうよ」と言われたことをきっかけに私はクラスを引っ張っていく立場となった。

しかし、私は舞台の知識はあるが、それを相手に分かりやすく伝えることが苦手だったので、不安が残るまま文化祭に向けての準備が始まった。準備を進めていく中で、クラス内で決めなければいけないことやお願いしなくてはならないことが上手に伝えられず、衝突してしまうことも多かった。そのたびに「なぜうまく伝えられないのか」と自己嫌悪に陥り、しまいには「私じゃなくても変わりなんてたくさんいる」と無責任なことばかりを考えていた。

そんな私を見捨てず、やることがあるのにサポートをしてくれたのが友達やクラスの仲間だった。本番が近づくにつれて資料作りや裏方の仕事、リハーサル等、クラスの仲間が手伝ってくれた。また、私を頼ってくれることに対して大変でもあり自信にもなっていた。文化祭当日、私たちの公演が終わり、クラス全員がやり切った顔をしていた。ほかのクラスの友達や先生から「凄かったね」といってもらえるほど素晴らしい作品ができた。

校内放送で「アカデミー賞309」と聞き、自然と涙が出た。クラスの子に泣きながら「ありがとう」と言われ、最後まで諦めずやれてよかったと思うと同時に、このクラスでよかったと思うことができた。そんなクラスも、あと半年だと思うと寂しくも感じている。





2年アカデミー賞 ミュージアム部門

頑張っている人がいたからこそ頑張れた

202 森 美羽 (春日井市立西部中学校出身)

私たち202組は、『チャーリーとチョコレート工場』をテーマにして文化祭の企画を進め、アカデミー賞をとることができました。

202では、初めたくさんの案が出ました。その中から多数決で決まったのが『チャーリーとチョコレート工場』でした。文化祭準備が始まって、初めは居残る人が少なかったが、だんだん人数が増えていった。それを見て自分も何か手伝える事はないのかと思い、7限の授業や部活動がない日、部活動の後など自分ができる日は足を運んだ。私は内装を担当する事になり、段ボールや紙粘土などたくさんの道具を使って『チャーリーとチョコレート工場』のイメージを表現した。それに加えて試食の担当もする事になった。100%カカオのチョコレートを作るためにたくさん調べたが、初めはなかなかうまくいかないことだらけだった。けれど、妥協せずに皆で協力して一つのことをやるのはとても楽しかった。自分の役割が終わり、手伝ってくれる人が何人もいてとても助かりました。そして自分も積極的に文化祭準備に参加できました。自分が手伝ったり、困っている事があったら手をかしたりして、誰かの役にたっていれば良いなと思いました。

振り返ってみると、今までの行事の中で一番大変な行事でした。クラスでぶつかる事もあり、準備が全然進まない時もありました。でも、いろんな人がクラスを引っ張って進めようとしてくれました。それを見て、私も頑張ろうと思えました。

この文化祭は、自分にとって大切なことを気づかせてくれました。仲間の大切さや、全力でやることの達成感など学ぶことが多くあった。クラスの皆とよりいっそう仲良くなれました。クラスの皆で作り上げた文化祭でアカデミー賞を獲得することができて良かったです。

1年アカデミー賞 創造部門

支え合いの力

108 水野 僚介 (北名古屋市立西春中学校出身)

アカデミー賞発表の瞬間、喜びより驚きが先行してしまった。まさか自分たちが受賞できるとは思ってもみなかったからだ。

文化祭に向けては、何度もクラスで話し合っていた。どんどん楽しいアイデアが出てイメージは広まるものの、それをクラス全員で意識を共有するのが難しかった。イメージの食い違いが多々あった。なかなか順調に形にならない。外装が決まらない。内装も思うように進まない。まだまだ細かい部分も決めていない。僕はBGMの作成担当だったが、なかなか成功せずに頭を抱えていた。1週間前には、「このままでは本当に間に合わないかもしれない!」という空気が漂い始めた。いろいろな面でお先真っ暗、船より先に僕の心が沈んでいくのを感じた。

でも、そんな時、頼りになるのはやっぱりクラスのみんなだった。みんなが自分のやれることを見つけて作業してくれた。いつの間にか、各々が個性を生かしてアイデアを出し合い、より良いもの、満足するものを作ろうと真剣になっていた。部屋の配置を考え直し、常に声を発して意識を高めてくれた人。力仕事や当日に盛り上げ役をしてくれた人。沈没船の雰囲気作りやデザインを考えてくれた人。緻密な謎解きを考えてくれた人。自分たちも忙しくても、アドバイスや励ましの言葉をくれた他のクラスの友達。お互いの足りないところを補い、支え合うことで大きな困難も乗り越えていったのだと感じる。

僕はそれが当たり前のようにできるこの108で本当に良かったと思う。

文化祭実行委員長より

208 大島 蒼竜 (名古屋市立一柳中学校出身)

皆さん、文化祭は楽しかったですか?今年の文化祭テーマ「Time ～未来につむぐ糸～」を意識しながらクラス企画の準備をしていくなかで嬉しかったり、苦しんだり、いろんな想いをしながら文化祭を迎えたと思います。1・2年生は来場者を楽しませる工夫がたくさんあり、体験コーナーや試食など楽しかったし、教室の外装にこだわって各クラスの内容が教室外からも分かり、世界観に引き込まれました。また3年生は最後の文化祭にかける思いがとても強く伝わってきました。演劇・パフォーマンスを見たとき凄くドキドキし、感動しました。3年生ってスゴイ!という気持ちになりました。さまざまな困難を乗り越えたからこそ、各クラスの企画がとても素晴らしいものになったのではないのでしょうか?

夏休み前から、準備を進め、みんなで力を合わせて1つの企画を作り上げた事で、かけがえのない、思い出ができたと思います。一人ひとりが頑張ったからこそ、素晴らしい文化祭ができたと思います。本当にありがとうございました。

PTAバザー報告

9月28日(土)一般公開日に、PTA専門委員会・学園父母懇・同朋友の会(卒業生の保護者の会)・同窓会によるバザーを実施しました。

事業委員会は焼きそば、文化委員会は喫茶コーナー(タピオカジュース)、地域懇委員会は唐揚げを提供していただきました。バザー当日はまだまだ残暑も厳しかったのですが、本校生徒や多くの来場者で賑わい、早い時間に完売したものもありました。

なかでもタピオカジュースについては流行ということもあり常に行列ができていて、過去最高の利益を上げました。また唐揚げも高校生の大好物ということもあり、販売量を増やしたにもかかわらず早くに売り切れとなりました。

物品バザーを行った生活委員会では、昨今のインターネットフリーマーケットの影響などで品物の集まりにくい状況でしたが、早くから物品提供の協力をお願いする中で品物が集まり、当日を迎えることができました。物品をご提供いただいた保護者の皆様には感謝いたします。

収益については専門委員会合計で20万3045円となりました。この収益金につきましては今年も生徒の学校生活に必要な備品購入等に使用させていただく予定です。その用途が決まり次第、保護者の皆様にお知らせいたします。

そして文化祭バザーの後、本校の食堂にて80名ほどの保護者と教員で「PTAバザー慰労会」が開催されました。各委員会・各団体からはバザーの売り上げが報告され、教員・保護者からは各学年の文化祭にまつわるエピソードが話され、感動や笑いのあふれる楽しい会となりました。

皆様のおかげで今年も盛況のうちに文化祭バザーを終了することができました。PTAの役員、常任委員の皆様にはバザーの準備から当日の運営、後片付けまでご協力いただき、本当にありがとうございました。

総務部長 杉浦 智晴



部活動

この夏、多くの部活動が各大会で
目覚ましい活躍をしました。

バトン部

ラグビー部

柔道部

バトン部

208 中島 笑里 (名古屋市立はとり中学校出身)

世界大会で感じたこと

私は8月9日～11日の3日間、バトントワリングのグランプリ大会(世界大会)に出場しました。フランスという異国の地での大会で感じたことを書きます。

私は普段、市内のスポーツセンターを借りて練習しています。そこは、エアコンが設置されていて、夏でも冬でも快適に練習しています。世界大会に出場する前まではそれが当たり前だと思っていました。しかし、現地に行ってみると大会会場にもその会場の付近にもスポーツセンターのような施設はありませんでした。そのため会場の外で練習するか方法がありませんでした。外は日差しが強く、地面は砂利で凹凸がある場所でした。太陽の光でバトンが見えなくなることや、難易度の高い技が地面の影響で練習できないことが数多くありました。こんな酷い環境で練習することは今までになかったのも、とても不便でもあり、驚きました。

普段からとても恵まれた環境で練習させてもらっていることに感謝し、1回1回の練習を大切にしたいです。これからもっとレベルアップしていきたいです。

柔道部

306 小池 倫太郎 (東郷町立東郷中学校出身)

反復を自信に



「オリジナルになるまで反復」。これは、私が東海大会にまで手をかけることができた最大の要因だと自負しています。アドバイスや、強い人の真似をし、自分の物になるまで反復します。初めは、「言われた事は素直に出来るまでやりなさい」という先生の教えからでしたが、反復する上で自分の物に変わる感覚を覚えました。そしてこれは、技術習得と共に試合での揺るぎない自信へとも姿を変え、私を支えてくれたと感じています。

そして柔道は、一緒に練習する仲間と環境があり、対戦者がいるからできる競技です。前述した事であっても部員の支えや藤山先生・平岩先生の指導から生まれた感覚です。その他にも私自身の身の回りには、当たり前にある事は一つもなく感謝すべき瞬間ばかりだということを感じました。これらの気付きは私の3年間のすべてで、今後も大切にしたいものばかりです。そして、届かなかった全国への想いと共に今後も柔道と向き合っていきます。

ラグビー部

304 大橋 昇真 (名古屋市立南陽中学校出身)

ベスト4を目指し

私たちラグビー部員は、すべての愛知県大会においてベスト4を目指して活動をしています。その目標を達成するための1つの大会であった5月の高校総体では、支部予選「優勝」、県大会「ベスト8」という結果となり、9月より行われる全国大会予選のシード権を獲得することができました。また、愛知県準優勝校を相手に惜敗という結果もあり、部員一人ひとりが「もっとやれた」という気持ちが強くなり、チームの向上心が高くなりました。

夏を迎え夏休み期間中の活動は、惜敗した点差をひっくり返すために、厳しい練習と体重を増加させるための食トレも実践し、3年生最後の大会を迎えるにあたり、後悔しないために努力を重ねました。



そして私が全国大会予選の抽選を引き、愛知県1位校の山に入りました。5月に対戦した高校と勝負したかったのですが、抽選結果は変わりません。ポジティブに考えて挑戦(チャレンジ)していきたいと思います。

昨年は先輩方の足を引っ張ってしまい後悔が残る最後でしたが、今年は、先輩の気持ちを背負って戦い、やり残しがないように最後まで戦い抜きます。

Club&Award News

■柔道部

第73回愛知県高等学校総合体育大会 県大会

男子81kg級 第2位 東海大会出場
小池 倫太郎 (306) 東郷町立東郷中学校出身
男子100kg級 第3位 佐々 陽彦 (310) あま市立基目寺南中学校出身

令和元年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 愛知県予選
48kg級 第3位 山本 香来 (108) 扶桑町立扶桑北中学校出身

令和元年度少年男子国民体育大会 柔道競技
少年男子の部 最終選考会
100kg級 第3位 佐々 陽彦 (310) あま市立基目寺南中学校出身

令和元年度愛知県私学祭体育大会 柔道競技

高校男子団体 第3位 同朋A
高校女子団体 第3位 同朋A・同朋B

■陸上競技部

令和元年度名古屋南北学年別陸上競技大会 男子1年走高跳
優勝 奥村 渡 (107) 名古屋市立長良中学校出身

■男子サッカー部

令和元年度名古屋南支部サッカー大会 優勝
第98回全国高校サッカー選手権大会 名古屋地区大会 優勝 県大会出場

■男子テニス部

令和元年度名古屋南地区高等学校
テニス選手権大会 男子ダブルス選手権の部

第5位 永吉 健人 (309) 北名古屋市立熊野中学校出身
加藤 稜人 (308) 名古屋市立港明中学校出身

■ラグビー部

第73回愛知県高等学校総合体育大会
ラグビー競技7th大会 名南知多支部予選会
優勝 県大会出場

第73回愛知県高等学校総合体育大会
ラグビー競技7th大会 愛知県大会ベスト8

第16回飛騨市長杯
ラグビーフットボール大会 準優勝

第61回中部電力市民スポーツ祭
ラグビーフットボール大会 高校生15人制の部 優勝

■乗馬部

第53回全日本高等学校馬術競技大会
東海地区予選 Bブロック優勝 全国大会出場

職業教育技術顕彰を受領しました

愛知県は職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来にわたり豊かな職業生活を営むことを目的とした技術認定制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、高度な資格を複数取得した商業科3年生全員に対し、愛知県知事から「職業教育技術顕彰」が授与されました。

顕彰が授与されたことに自信を持ち、これからも学びに対し真摯に取り組んでもらいたいものです。 商業科主任 伊吹 酬平



同朋史上初
全員受領

愛知県職業教育技術顕彰受領者

伊吹 和哉	川島 千華	宇佐見 侍穂	堺 穂華
榎原 誠竜	佐藤 早希	北村 波偉斗	谷元 真唯
齊藤 明人	篠田 菜々子	後藤 健斗	土井 杏莉
佐々 陽彦	渋谷 心音	酒向 伶弥	中島 祐菜
中村 祐都	田口 真帆	所 優豪	西川 日遥里
広田 思遥	谷口 滯	中島 臣哉	西田 有莉加
深津 裕己	野口 芽衣那	中村 和真	橋本 芽衣
馬塚 光希	菱田 真帆	山崎 一慶	濱岡 萌
松本 浩太郎	藤垣 来柏	山田 天陽	林 愛友
森 伊吹	増間 香乃	岩崎 凌奈	林 美悠
横山 弘典	宮崎 亜莉咲	打越 彩恵	古田 理子
安形 友寿	宮崎 来海	大形 友希菜	武藤 光海
石黒 萌	森 まはゆ	尾崎 仁菜	本島 あずさ
市川 愛梨	安井 沙也花	上條 萌香	
伊藤 あかり	山崎 萌菜	神原 葵	
景井 春花	吉川 綸香	木村 菜々子	
加藤 真季	アサノ 晃	小島 遥奈	

以上64名

デザイン特別講義 名古屋造形大学

商業科では、2年次より、自分の得意分野の能力を伸ばすため、会計・情報・ビジネス・デザインの4系列に分かれた課題研究（選択授業）を行っています。7月22日にデザイン系列の授業を学ぶ2・3年生を対象に、特別講義として姉妹校である名古屋造形大学に伺いました。大学の学びは何か、系列大学はどのような授業をしているかなどという点に視点を置き、大学敷地内のキャンパス案内や、大学生の授業風景を見学させて頂きました。

名古屋駅より約1時間で名古屋造形大学到着。その後は図書館ツアーで秘蔵の書籍に触れ、デザインの歴史や、デザインとはどうあるべきか説明いただきました。また、体験講義のメインとして、外山貴彦准教授の講義では、デザインと空間プロデュース、宣伝方法などを多岐に渡り教わりました。ドローンを使用した被写体の撮影方法や、メディアデザインコースの講義体験、被写体と音をプロデュースし携帯端末等を利用した参加型学習などとても充実した内容でした。

商業科主任 伊吹 酬平



アンサンブル演奏会

共に成長できたアンサンブル演奏会

312 浅井 めぐみ（豊明町立豊明中学校出身）

音楽科アンサンブル演奏会が7月14日に行われました。この演奏会は2年生から始まった週1回2・3年生合同の演奏研究という授業の成果を発表するためのものです。だから演奏会を成功させるためには先輩後輩が一体となることが必要です。しかし音楽科3年生の私1人に対して、2年生は伴奏者の子を合わせて10人。思ったように練習が進みませんでした。形になったのはプレ演奏会の1週間前でした。

プレ演奏会当日は歌詞を間違えたり、歌の入るタイミングがずれたり、とても聴衆に披露できるものではありませんでした。私はもっと練習すべきだったという後悔と本番



までに作品として恥ずかしくないものにしなければならぬという焦りを感じました。それからは以前とは比べものにならないほど、お互い真剣に取り組み、有意義な練習になりました。私たちは急激に完成度を上げていきました。そして、本番当日を迎えました。思いもかけないハプニングが起こり右往左往しましたが、私たちの演奏は大成功でした。達成感で満たされ大きく成長できたと感じています。



合唱オーケストラ演奏会

音楽から学んだ人への感謝

312 安藤 ゆい（刈谷市立富士松中学校出身）

「ブラボー!!」私たちの定期演奏会は幕を閉じた。もう終わってしまうのか。もっと弾きつづけていたかった。私はコンサートミストレスを務めていた。誰よりも弾けていなければならないというプレッシャーにかられていた。今回の曲は今までとは違い難曲であったにもかかわらず皆、必死についてきてくれたのだ。その姿をみて私もさらにやる気を増した。それから私は曲のストーリーを調べ、皆に伝えて音楽を共有したいと思った。

私は一人だけではできないこともたくさんあるというこ



とをこの時に学んだ。各パートリーダーや指揮者の小島先生、ヴァイオリンの古井先生にはたくさんのアドバイスをいただき、いろいろな場面で助けていただいた。

私には音楽を通じて仲間がいたから今までめげずにやってこれた気がする。それでもやれることが他にもあったと思う。だからこの思いを次へと活かしていきたい。





今年度、8月2日からの17日間、9名の生徒と引率教員2名で、本校が初めて訪問をするオーストラリア・サンシャインコーストエリアにあるNambour Christian College で語学研修とホームステイプログラムに参加しました。



ホームステイの素晴らしさ (109) 芦川 礼菜 (名古屋市立東陵中学校出身)

私は自分の意志でこのホームステイプログラムに参加することを決めました。幼い頃から英語が大好きだったので、不安よりもどちらかと言うとたくさんの期待を寄せていました。初めての海外ではありましたが、英語を話すことに苦手意識はなかったので、早くホームステイ先へ行き、ホストファミリーと話すことがものすごく楽しみでした。ですが、母国語が一切通じない所で2週間過ごすというのは、自分にとってもものすごく大きな挑戦でした。決して簡単なことではありませんが、海外の文化や、現地の人が実際に使っている英語を学びたいと思いました。そしてもっと視野を広げて他者を思いやれる人になりたいという強い意志が、私を支え、海外に挑戦することを後押ししてくれました。

出発前、何も緊張感がない私でしたが、知らないうちに抱えきれない程の緊張感を感じていました。そして、あっという間にブリスベン空港に到着。初めてブリスベンの街を散策した時、ご飯を自分達で注文して購入することにとても苦戦したのを覚えています。欲しい物を買う。ただそれだけのことで今までこんなに困ったことはありませんでした。言語が違い、ルールが違う。当たり前のことだけれど、私は言語の違いの凄さに圧倒されました。

私達が通うことになるNambour Christian Collegeでは、ホストファミリーが私達を待っていてくれました。ホストファザーと2人のバディ、サムエルとラファエルが迎えにきてくれました。私が挨拶をしようとしたら、ニコっととても柔らかな笑顔で「よく来たね」と言ってくれまし

現地校では、ネイティブの先生による英語レッスンだけでなく、日本語の授業に参加して日本文化を紹介するプレゼンテーションを行いました。現地生徒との会話の際も、緊張から初めは何を話したらよいか分からない、伝えたいことが思うように伝わらないなど不安げな顔をしていました。しかし、交流を重ねていくにつれて笑顔で積極的に話す姿にとても驚かされました。涙を流しながらホストファミリーとの別れを惜しむ姿からも、かけがえのない時間を共有できたのだということが伺えました。

この研修での経験を今後の英語学習に活かし、そして、生徒たちが再び海外に行っているいろいろな経験をしてくれることを願ってやみません。

国際交流委員会 田中 佑樹



地域懇談会にご参加いただきありがとうございました

初夏に、23地域で地域懇談会を実施しました。今回は卒業生や卒業生保護者、現役生徒の体験発表が多くありました。また河合塾講師による講演、先生のミニ授業などの進路・学習に関する企画や、ワンポイントメイクレッスン、アレンジティーの試飲会など楽しい企画も充実しました。今年は懇談会をメインとしており、先生方と地域の保護者が分け隔てなく意見交換し、中身の濃いコミュニケーションをすることができました。

このような活動は、地域懇談会に関わるすべての方々のご協力の下に成り立っており、結果として生徒、保護者、学校のより良い学校に繋がる大変有意義な活動だと思います。

今後の活動として、12月7日のオープンフォーラムを予定しております。まだまだ参加いただけるので、お子さんから案内の手紙を受け取ったら、ぜひとも参加をお願いします。

みなさまとともに力をあわせて、同朋高校を盛り上げていきたいと思います。

PTA地域懇委員長 伊藤 久美子

PTA研修会 今年は神戸で研修しました

8月25日に、83名の参加者がバスに乗車し、異国文化あふれる神戸で研修会ならびに懇親会を実施しました。

バス内では自己紹介やビンゴゲームなどを行って親睦を図りながら、最初の目的地である神戸港へバスを走らせました。神戸港で日本最大級のレストラン船である「ルミナス神戸2」に乗船し、神戸港から明石海峡にかけてのクルーズを楽しみながら、おいしいコース料理のランチを楽しみました。食後に甲板に出ると、この日は日差しも強くはありませんでしたので、さわやかな潮風とカモメの声に包まれ、非日常の空間を堪能できました。

次の目的地は、神戸港の近くにある南京町中華街。1868年に神戸港が開港したと同時に外国人は外国人居留地に住むようになりましたが、当時通商条約を結んでいなかった清国の人々はそこに住むことが許されず、その西側のエリアに住むようになり成立したのがこの南京町中華街です。レストランはもちろん、点心や軽食のテイクアウトのお店、雑貨店が数えられないほど立ち並び、まるで中国や台湾の街並みを訪れたかのような感覚になるほどだったとの感想も寄せられました。

毎年暑い季節に研修会を実施していますが、参加されたみなさまからは非常に高い満足度をいただく研修を行うことができました。企画・準備・運営を担当したPTA文化委員会を代表して、紙面を持ちまして御礼申し上げます。

文化委員会は、すでに来年度も充実した研修会が実施できるよう計画を進めています。1・2年生の保護者の方は、ぜひ来年度のPTA研修会の参加を検討いただければ幸いです。

PTA文化委員長 伊藤 博子

同窓会総会を開催しました

名鉄ニューグランドホテルを会場に、59回を数える同窓会総会を開催しました。毎年多くの方に参加していただき、今回も200名を超える同窓生とお世話になった先生方にお集まりいただいたの盛大な総会となりました。

会計報告などの議事に続き、おいしい食事を交えたパーティーは、世代を超えた同窓生と恩師との笑いが絶えない時間となりました。

同窓会は、毎年8月第1日曜日に同窓会総会を実施しています。来年の総会は、8月2日(日)に60回記念総会として実施予定です。3年生のみなさん、来年の同窓会総会でお会いできることを楽しみにお待ちしております。

同窓会幹事一同

